

ISO/IEC/JIS Plastics

事務局便り 2012年11月

ISO/TC61/SC1(用語)分野の最近の動向

ISO/TC61/SC1 は、プラスチックの用語に係るプラスチック共通規格の制定・改訂を担当しており、米国が議長、英国(BSI)が国際幹事を務めている。現在 7 つの ISO 規格が発行されており、開発中のテーマは1つで、WG1 用語と定義、WG3 記号の 2 つの作業部会が活動している。

一方、これに対応する国内ミラー委員会は、北山主査(大阪大学教授)以下22名の委員で構成され、活動を展開し積極的に日本提案を行っている。

これらの活動の中で最近のトピックスを紹介します。

1. 用語及び定義 作業部会(WG1)＜コンベナー:米＞

この作業部会ではプラスチックの用語規格:ISO 472 の制定改訂を行っている。

ISO 472 は、TC61 の規格基礎となる用語を定めた規格で 1979 年に第1版、1988 年に第2版、1996 年に第3版が発行され、2005 年から4版に向けた改訂作業が行われ、近々やっとなり発行となる予定の規格である。しかしながら、規格の特異性からその解決のため承認から発行まで2年以上を要する異例である。

用語数 1800 語を収録した改訂文書が 2010 年に最終 FDIS 投票で承認された。しかしながらこの規格は他の規格と異なりデータベース型フォーマットの文書で、これは常に最新版管理が必要な動的文書であり、そのため通常型規格文書では有効に管理できないとされている。そこで、これを満足するためにXMLフォーマットで作成されたデータベース規格の開発がすすめられ、近々これが完成し発行となる予定となった。

更に、この規格ではデータベース化された用語は英語のみならず、フランス語、ドイツ語にも翻訳されリンクされている。また、その利用もグローバルにアクセス可能なように、Online Browning Platform(OBP)をたちあげ、ISOのホームページから誰でもアクセスし利用できるシステムとされた。因みに旧規格で登録されている用語、定義は現在これで閲覧ができようになっており、ISO規格の開発に強力な有効ツールとして活用されるものと期待されている。

もう一つ、この特異な規格の開発のなかで新たな ISOのしくみが出来上がった。ISO 472 は、動的規格であるために用語データベースの追加改訂の迅速化は不可欠で、それを満足するための新たな提案がされた。それはSC1のPメンバー(投票権をもつ積極参加国)からなるバリデーションチームの設置の提案である。このチームは提案された用語の検証を行うチームで提案は承認され既に本年4月にチームが結成されている。通常規格開発プロセスであればCD, DIS, FDIS 投票で開発が進められるが、このチームはこれらのプロセスを一括して行うため、投票プロセスの簡略化が図れ、最短では提案から発行までが半年で完了させることができる。因みに日本もこのバリデーションチームのメンバーの一員で、TC61/SC1 国内ミラー委員会メンバーがこれを担当することとなり、各国の提案に対し検証を行うこととなった。一方、日本は用語に関する改訂提案を積極的に行ってきたが、すでに日本が提案した用語の追加・改訂は、このシステムに則り 審議されることとなっている。

2. 記号 業部会(WG3) <コンベンナー:ドイツ>

この作業部会は、プラスチックの規格で用いる記号・略語とその表記についての規格制定改訂を担当しており、現在次の6つのISO規格が発行されている。

ISO 1043-1 ポリマーの記号、略語

ISO 1043-2 充てん材・強化材の記号、略語

ISO 1043-3 可塑剤の記号、略語

ISO 1043-4 難燃剤の記号、略語

ISO 11469 プラスチック製品の識別、表示

ISO 8604 プリプレグの用語と記号

ISO 1043-1 及び 1043-2 は、2011年に日本提案により改訂され、各4版、3版が発行された。改定内容はいずれもプラスチックリサイクル品に関わる記号の追加改訂で、日本は環境問題へ積極的に取り組んでおり、同様の取り組みで2012年の定期見直しではISO 11469についてリサイクル品の記号を追加する提案を行い現在この改訂に取り組んでいる。

3. JIS規格への対応状況

国内委員会では、この分野でISO 8604を除く6つのISO規格に基づく6つのJIS規格を制定・改正してきた<ISO 472⇔JIS K 6900, ISO 1043⇔JIS K 6899 シーズ', ISO 11469⇔JIS K 6999>。

先に紹介したISOの改訂は、対応するJISの改訂につながり、現在JIS6899-1並びに6899-2の改訂に取り組んでいる。

以上